


このストーブを組み立て使用する前にこの取扱説明書を熟読し理解してください。この取扱説明書は、後日参照できるように大切に保管してください。この取扱説明書の説明でわからないところがある場合やご質問がある場合は、Cascade Designs または電話 (+1-800-531-9531) でご連絡ください。

**重要**

- このストーブは、無臭の一酸化炭素を発生する可能性があります。
- 密閉された場所で使用すると、死亡事故の原因となる場合があります。
- キャンピングカーやオートホーム、車内、屋内等、換気の悪い場所では、ストーブを絶対に使用しないでください。


危険

安全のための注意事項

このストーブや他のストーブの近くで、ガソリン等の引火性蒸気が発生する液体を保管したり、使用したりしないでください。

安全のための注意事項

**1. ストーブに点火しないでください。**

**2. 裸火は消してください。**

**3. ガスカートリッジを外してください。**

安全のための注意事項

安全のための注意事項

上記の限定保証を除き、Cascade、その関係会社、サフラーターは、法的に認められる限り、Cascadeの所有物となり、お客様には返送されません。

新製品と交換する権利を有するものとします。返品され、修理不可能と判断された製品は、Cascadeの所有物となり、お客様には返送されません。

保証期間中、Cascadeが、本製品のの一部に材料または製造上の欠陥があると判断した場合、修理または良品との交換を行います。購入者はそれ以外の救済措置を求められません。修理または良品との交換を行いますが、購入者はそれ以外の救済措置を求められません。修理または良品との交換を行いますが、購入者はそれ以外の救済措置を求められません。修理または良品との交換を行いますが、購入者はそれ以外の救済措置を求められません。




保証期間中、Cascadeが、本製品のの一部に材料または製造上の欠陥があると判断した場合、修理または良品との交換を行います。購入者はそれ以外の救済措置を求められません。修理または良品との交換を行いますが、購入者はそれ以外の救済措置を求められません。修理または良品との交換を行いますが、購入者はそれ以外の救済措置を求められません。

保証期間中、Cascadeが、本製品のの一部に材料または製造上の欠陥があると判断した場合、修理または良品との交換を行います。購入者はそれ以外の救済措置を求められません。修理または良品との交換を行いますが、購入者はそれ以外の救済措置を求められません。修理または良品との交換を行いますが、購入者はそれ以外の救済措置を求められません。

### 屋外使用のみ

   <p><b>公称出力</b> 8,200 BTU/h</p>	 <p>2009/142/EC (51)(13921-2011) <b>種別: 蒸気圧</b> <b>ボタン・プロパン</b></p> <p><b>公称出力</b> 3.9 kW 280 g/h</p>
<p>ストーブのオリフィスサイズ: 0.31 mm</p> <p>注意: 具体的な基準機関の検査手順により公称熱出力率は変わります。</p>	

危険

一酸化炭素、火災、爆発の危険

このストーブと燃料の使用により、重大な危険が生じる場合があります。失火や爆発、誤用により、死亡事故や重度のヤケド、物的損害を引き起こす恐れがあります。使用者には、自分自身の安全および自分のグループの人たちの安全に対する責任があります。適切な判断を行ってください。

このストーブは屋外専用です。テント内、出入口、車内、屋内、換気の悪い場所では、ストーブを絶対に使用しないでください。このストーブは酸素を消費し、有毒で無臭の一酸化炭素ガスが発生します。

このストーブは、近くにある可燃物や引火性液体・蒸気を容易に引火させます。密閉された空間でこのストーブを使用すると、死亡や重症のヤケドに至る危険性があります。

ストーブやガスカートリッジは他の熱源から離れた場所においでください。ウィンドスクリーン等は使用しないでください。直径 20 cm 以上の Outback Oven™ などの調理器具を使用しないでください。ガスカートリッジは、高温にさらされると爆発する恐れがあり、死亡事故や重大なヤケドなどの危険があります。

小児にこのストーブを絶対使用させないでください。小児はストーブや調理場所から 3 m 以上離し、常に目を離さないようにしてください。

本ストーブを使用する前に必ずこの取扱説明書の指示と警告をすべて読んで充分理解し、それに従ってください。これらの警告および手順に従わなかった場合、死亡や重度のヤケド、物的損害に至る危険性があります。

警告

以下の場合は、ストーブを使用しないでください。(1)この取扱説明書をすべて読み、完全に内容を理解する前、(2)燃焼しているストーブ、または熱いストーブを取り扱うことに対して、まだ慣れていなくて不安な場合、(3)燃料が漏れているのを発見した場合、(4)ストーブあるいはその周囲に直火器具の操作を危険にする要因を発見した場合、これらの指示に従わなかった場合、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡に至る危険が発生する恐れがあります。

このストーブは野外 (テントなどの密閉された空間ではない) で、水を沸騰させたり、調理するために設計されています。それ以外の目的では使用しないでください。密閉された空間でストーブを使用したり、水を沸騰させたり調理をする目的以外で使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る恐れがあります。

このストーブは、取扱説明書に記載された範囲外の分解を行わないでください。ストーブを改造しないでください。この取扱説明書の指示に一致しない方法でのストーブの分解または改造は、保証を無効にし、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故などが起きる危険な状況を引き起こす恐れがあります。

部品が欠けていたり破損している場合や専用交換部品以外が使用されている場合は、ストーブを使用しないでください。部品が欠けていたり破損している状態や専用交換部品以外が使用されている状態でストーブを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故などが起きる危険な状況になる恐れがあります。

カスケードデザイン社では、適切なサイズの MSR® ブランドの調理器具の使用のみを保証します。MSR® ブランド以外の調理器具の使用に関しては、利用者自身の責任と判断において使用してください。



**MOUNTAIN SAFETY RESEARCH®**

製品サービスおよび情報に関するお問合わせ先  
**Cascade Designs, Inc.**

4000 First Avenue South, Seattle, WA 98134 USA  
+1-800-531-9531 / +1206-505-9500  
[www.msrgear.com](http://www.msrgear.com)

再生素質 | 再生可能

本取扱説明書は、一般古紙 30%を含む再生紙を使用しています。

ART# 80-753 (LP)

# 取扱説明書



MICROROCKET™ ストーブ

後日参照できるように大切に保管してください。

## 一般的な安全情報

死亡事故や重大なケガを避けるため、本ストーブを使用する前に必ずこの取扱説明書の指示と警告をすべて読んで充分理解し、それに従ってください。

このストーブは、屋外での調理を目的とした軽量コンパクトな器具です。屋外での調理に関するさまざまな情報については、お近くのアウトドア用品取扱店等にご相談ください。アウトドアレジャーを楽しむには、その前に資格を持った専門家のアドバイスを受けてください。

使用者には、自分自身の安全および自分のグループの人の安全に対する責任があります。この取扱説明書は、使用者の適切な判断に代わるものではありません。

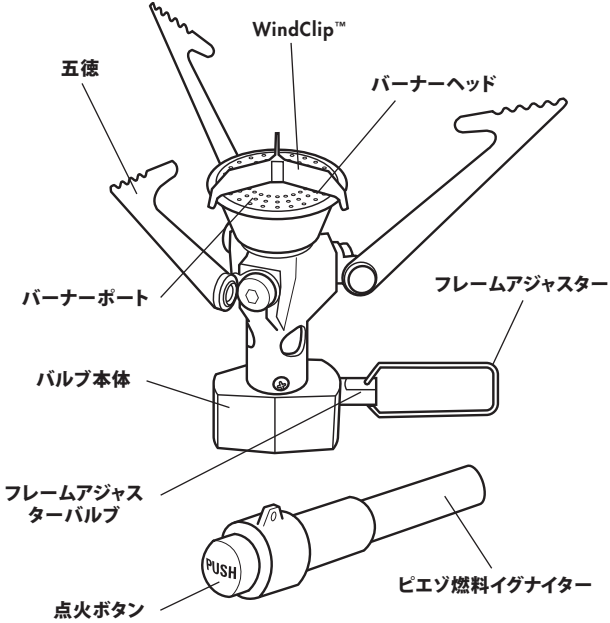
### ガスカートリッジの安全性

このストーブは、可燃性が高く、爆発性の液化石油ガス (LPG) カートリッジを使用します。このストーブは、EN 417 (113 g または 227 g) 規格の 70 ブタン / 30 プロパンまたは 80 イソブタン / 20 プロパンの混合ガス、MSR® プレミアム混合ガス燃料専用です。他の種類のガスカートリッジは使用しないでください。どのガスカートリッジの場合も、次の安全情報に従ってください。

- ガス漏れがないことを、音と臭いで確認してください。ガス漏れは非常に危険です。LPG 自体は無色・無臭で、添加されている強い臭いも、時間の経過とともに薄れることがあります。臭いだけでガス漏れが必ず発見できるとは限りません。ストーブが漏れていたたり損傷している場合、正しく操作できない場合は、決して使用しないでください。
- ストーブとガスカートリッジが確実にきっちり接続されていることを確認してください。接続がしっかりしていないように見えたり感じたりする場合や、ガス漏れの音や臭いがする場合は、ストーブやガスカートリッジの使用を中止してください。引火源となる恐れのあるものから離れた換気のよい場所に移してから、ガス漏れ箇所を確認し、漏れを止めてください。ガス漏れを点検は、必ず屋外で、石鹸水を使用して行います。火を使用してガス漏れを点検することは、絶対にしないでください。
- ガスカートリッジの交換は、必ず屋外で人から離れ火気のない場所で行ってください。
- 227 g 以上または高さ 10 cm 以上のガスカートリッジは、使用しないでください。大型カートリッジでは、ストーブが不安定になります。
- 新しいガスカートリッジをストーブに接続する前にシールを確認してください。シールが破損・磨耗している場合は、ストーブを使用しないでください。
- ストーブや燃料は、他の熱源の近くに保管しないでください。ガスカートリッジは、高温にさらされると爆発やガス漏れを引き起こし、死亡事故や重大なケガに繋がる恐れがあります。
- ガスカートリッジに記載されている使用・保管上の警告には必ず従ってください。

## MSR® MICROROCKET™ ストーブについて知りましょう。

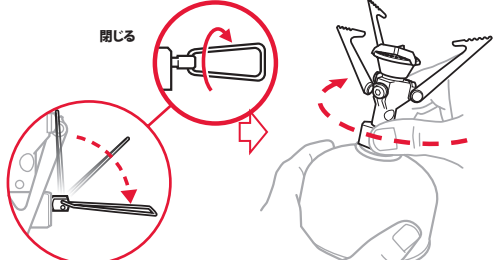
MicroRocket ストーブにガスカートリッジを接続する前に、MicroRocket の各部分についてよく理解し、以下の指示に従ってください。このストーブは、取扱説明書に記載されている方法とは異なるやり方では使用しないでください。



## MICROROCKET™ ストーブ操作手順

### 1 ストーブとガスカートリッジの接続

1. フレームアジャスターを開き、フレームアジャスターバルブを閉じます。
2. 五徳を開きます。
  - 五徳の脚をストーブから引き出します。
  - 垂直位置で固定されるまで、五徳の脚をそれぞれ反時計方向に回します。
3. ストーブをガスカートリッジ上部に接続し、しっかりと止まるまで手で締めます。



**警告**

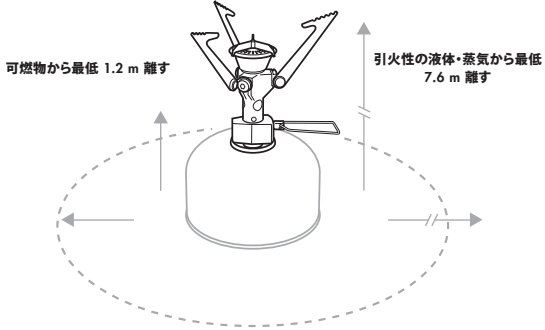
ガスカートリッジは、ストーブにきつく締めすぎないでください。締めすぎると、ストーブが破損したり、ガスカートリッジが燃料漏れを起こす可能性があります。燃料漏れは、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故等の原因となります。ガスカートリッジは、CAN/CSA 339 に準拠して製造・表記されています。

氷点下でストーブを使用する場合は、細心の注意を払ってください。氷点下では、Oリングが硬くなり、燃料が漏れる可能性があります。ストーブに点火する前後は、燃料が漏れていないか常に確認してください。燃料漏れを起こしているストーブを使用すると、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

ストーブや燃料のそばに小児を近づけないでください。カスケードデザイン社では、3 m 以上遠ざけることをお奨めします。燃焼しているストーブや熱いストーブから目を離さないでください。ストーブを放置すると、火災になる恐れがあり、小児、ペット、ストーブに気が付かない人が、ケガや怪我をした死亡事故に至る場合があります。

### 2 ストーブの設置

1. 調理する場所の周りには、可燃物や引火性液体・蒸気を置かないでください。
2. ストーブは表面が平らで安定した場所に置いてください。



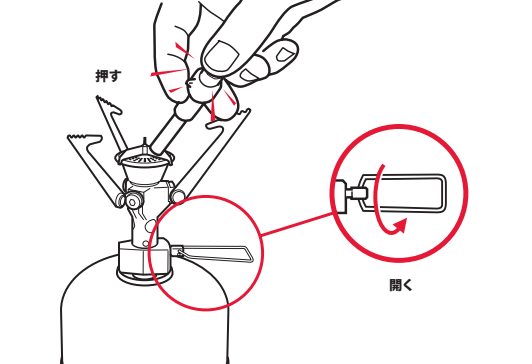
**警告**

可燃物は、燃焼しているストーブや点火しようとしているストーブの上部および周囲から少なくとも 1.2 m 離してください。引火性液体や可燃性蒸気は、燃焼しているストーブや点火しようとしているストーブの上部および周囲から少なくとも 7.6 m 離してください。このストーブは、可燃物、引火性液体、可燃性蒸気を引火させることがあり、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故に至るような状況を引き起こします。

フレームアジャスターバルブが開いたままになっている場合は、決してストーブに点火しようとはしないでください。フレームアジャスターバルブが開いたままになっている場合は、バルブをすぐに閉じ完全に換気してから、ストーブに点火してください。換気せずに点火すると、爆発を引き起こすことがあり、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故等に至る場合があります。

### 3 ストーブの点火

1. フレームアジャスターバルブを開き (3/4 回転) 燃料を出します。燃料が正しくバーナーヘッドまで流れていくことを音で確認します。
2. ビエゾ燃料イグナイターをバーナーヘッドに当てボタンを押します。点火までには数回ボタンを押さなければならぬ場合があります。
3. フレームアジャスターバルブを回して、炎の大きさを調節します。正しい炎の色は青色です。

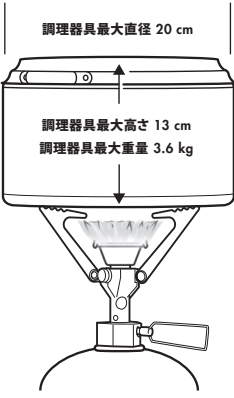


**警告**

ストーブの点火中または燃焼中に、頭や体がストーブの上に来ないようにしてください。ストーブは直火なので、頭や体をストーブの上に乗せておくことは、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れのある危険な行為です。

### 4 ストーブを使用して調理

1. 調理器具に食品や液体を入れます。
2. 調理器具をストーブの中央に置きます。
3. フレームアジャスターバルブを回して火力を調節します。

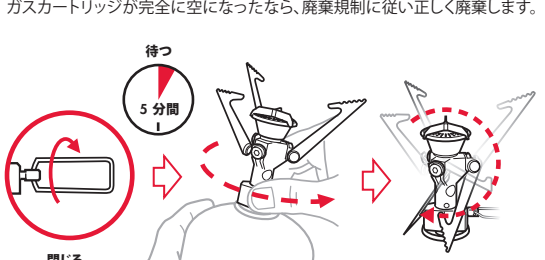


**警告**

熱いストーブや燃焼しているストーブを移動しないでください。移動する前には、ストーブの火を消してから必ず最低 5 分冷まします。熱いストーブや燃焼中のストーブを移動すると、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。直径 20 cm 以上の Outback Oven™ などの調理器具を使用しないでください。2 つ以上のストーブを並べて同時に使用しないでください。空の鍋あるいは液体の入っていない鍋でストーブを使用しないでください。MSR® 以外の熱反射板やデフューザーを使用しないでください。ストーブを間違った方法で使用すると、ガスカートリッジが爆発し、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故に至る場合があります。本ストーブや五徳に不適なサイズの調理器具や不適切な調理器具を使用しないでください (例: 凸型または凹型の底の調理器具、ホーロー調理器具など)。不適なサイズの調理器具や不適切な調理器具でストーブを使用すると、調理器具やストーブが不安定になります。熱い調理器具が倒れたり、その中身がこぼれると、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

### 5 ストーブの消火

1. 調理が終わったらフレームアジャスターバルブを閉じます。
2. 炎が消えた後、ストーブが冷めるまで 5 分間待ってください。
3. 引火源となる可能性のあるものからストーブを遠ざけ、ガスカートリッジを締めます。ストーブを取り外すときに、少量のガスが抜ける場合があります。
4. フレームアジャスターを畳み、五徳を格納します。
  - 五徳の脚を時計方向に回します。
  - 五徳の脚をミキサーチューブの方向に押し込みます。



**警告**

ストーブを保管するときは、必ずガスカートリッジを外してください。ガスカートリッジを外さずに保管すると燃料漏れを引き起こし、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故等の原因となる場合があります。ガスカートリッジは、温水器、ストーブ、口火、暖房器具、温度が 49 度を超える場所等、熱源や引火源から離れた換気のよい場所に必ず保管してください。熱源や引火源の近くや、温度が 49 度を超える場所等にガスカートリッジを保管すると、爆発する恐れがあり、火災、ケガ、重度の怪我、死亡事故等の原因となる場合があります。

### トラブルシューティング

問題		
性能の問題	原因	処置
炎が弱い	燃料が少ない	ガスカートリッジを交換する
	ガスカートリッジの温度が低い	ガスカートリッジを交換する
ストーブが点火しない	ガスカートリッジの温度が低い	ガスカートリッジを交換する
	風が強い	岩など風を防ぐ天然の遮蔽物の背後にストーブを移動させる
	ガスカートリッジが空*	ガスカートリッジを交換する
	ピエゾ燃料イグナイターの破損	火のついたマッチライターをバーナーポートに近づけ、フレームアジャスターバルブをゆっくりと開く イグナイターの交換

\* ガスカートリッジが空かどうかを判断するには、ストーブから外して軽く振ってみてください。液体の入っている音がする場合は、まだ燃料があります。

ストーブの修理は、Cascade Designs, Inc. が認定する専門家が行う必要があります。この取扱説明書の説明やストーブ、交換部品、修理についてのご質問は、下記までご連絡ください。

Cascade Designs, Inc., USA - +1-800-531-9531 / +1 206-505-9500

Cascade Designs, Ltd., Ireland - (+353) 21-4621400

www.msrgear.com | info@cascadedesigns.com